

## 第4学年 国語科学習指導案

### 1 単元名 世界に一つのガイドブックをつくろう

～「世界一美しいぼくの村」(東京書籍4年下)他～

### 2 単元観

本単元は、「ガイド・ブックづくり」を通して、物語文を「読むこと」の力を付けるために設定した。「世界一美しいぼくの村」の物語の魅力が分かるようなガイド・ブックをつくることを児童の活動目的におきながらも、教師は文章の叙述に即して場面の様子や人物の心情を読み取らせ、文章表現の価値や意味をとらえさせるような働きかけをしていく。

#### (1) 児童観

本学級の8割を超える児童が本を読むことを好んでおり、朝の「読書の時間」は夢中になって本を読む児童の姿が見受けられる。特に、ファンタジーや非日常的な世界を描いた物語は人気のあるジャンルとなっており、ストーリー展開におもしろさを見いだしている児童が多い。しかし、1学期に学習した物語教材「夏のわすれもの」においては、登場人物の心情や人間関係を自分の体験や一般論から推測する児童も多く、教材文に書かれた叙述をもとに読み取っていく力が十分でないことが伺えた。表現に着目し、書かれた言葉から書かれていないが誰もが納得できる「読み」や言葉の裏にある作者の思い等に気付かせていけば、心情や場面の様子をもっと深く読もうする態度も育っていくと思われる。また、読み方の視点を広げていくことが、読書への意欲を一層高めることにもつながっていくと考える。

これまでに「読むこと」の学習においては、心情曲線や手紙の表現活動を体験しており、読み取ったことを書き表していく学習には比較的慣れている。反面、挙手して自分の考えを発表する児童は少なく、つぶやきによる発言が多い傾向にある。自分の考えを伝えたいという気持ちはもっているため、発表する内容やその内容に自信をもてば、進んで挙手する児童も増えると思われる。

#### (2) 教材観

教材「世界一美しいぼくの村」は、衝撃的な一文で終わる。美しい自然がいっぱいの故郷を愛し、家族を思いやる主人公「ヤモ」は、人々との温かい交流のなかで、貧しくともたくましく生きている。その村を一瞬で破壊したのが「戦争」である。遠いアフガニスタンが舞台であっても、児童は人間のもつ様々な「愛の心」に温かさを感じ、それに対比して描かれた「戦争」に無惨さや憎悪感を覚えながら読み進められると思われる。本教材の表現の特徴として、まず現地を訪問した作者だけあって視覚、聴覚、臭覚を使いながら自然の美しさや豊かさ、活気ある町の雰囲気や細やかに描写している点あげられる。心情描写においては直接的な心情表現に加え、「父さんと食べようと思ってとっておいた」「白い子羊にバハール(春)という名前を付け」など心情が推し量れる行動の表現も多く、人物の心情を巧みに描いている。また、逆説的な接続による語りや場面の構成等、対比して読ませたい表現も多い。特に衝撃的な最後の一文へとつながる全体の構成や季節の仕掛けは見事である。

#### (3) 指導観

指導にあたっては、教材の特性やよさを生かしながら楽しく読ませるために、ガイド・ブックの内容として以下のページを設定する。

- (1) 自然描写を読み味わうための「見どころ紹介」
- (2) 登場人物の関係を整理しながら心情を読み深める「人物関係図」
- (3) 作者の表現の工夫を読みながら主題に迫る「一文図解」
- (4) 教科書教材を出発点に読書を広げる「読書ビンゴ」

単元の導入にあたっては、ガイド・ブックの役割や学習内容を知らせ、読み手を意識させることで精読する必然性をもたせ、学習意欲を高めたい。

ガイド・ブックの作成にあたっては、どんな内容をどう書いていくかを理解させるために既習教材「サーカスのライオン」をもとに作成した「手引き」を用意する。また、読み取る力の個人差に応じるために「ヒント・カード」や「チャレンジ・シート」を提示していく。特に、読み取る範囲が広がる「人物関係図」づくりにおいては、登場する人物とその場面がとらえやすいように学習内容を区切りながら進めていく。

場面の様子を読ませる際には、自然の美しさや豊かさに気付かせるために、修飾語や動詞の使われ方に着目させる。心情を読ませる際には、直接的に心情を表す表現だけでなく、教材に書かれた行動や会話の言葉に着目させながら、人物と人物のつながりを鮮明にさせていく。最後の一文を読ませる際には、自然や人物の心の美しさと対比させながら戦争をとらえさせる。季節や場面の構成など言葉や文が意味するものを明らかにすることで、作者の表現の工夫にも気付かせていきたい。

単元の終末段階では、「読書ビンゴ」により様々な視点から読書を広げていく場を設定する。教室に図書コーナーを設置したり、学習した「読みの視点」から図書を紹介したりしながら、単元の時間外にも関連する図書に触れさせておきたい。

### 3 単元の指導目標

- ・登場人物の心情や場面の様子等を叙述をもとに読み取ることができるようにする。
- ・物語文を読み広げていくための視点を獲得し、進んで本を読むことができるようにする。

### 4 単元も評価規準

国語への関心・意欲・態度	ア 進んでガイド・ブックを作ったり、関連する図書を読んだりしている。 【「C読むこと」 内容(1)ア】
読む能力	イ 登場人物の心情や心のつながり、美しい自然の様子等を読み取っている。 【「C読むこと」 内容(1)ア】 ウ 読み取った内容をについて 自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気付いている。【「C読むこと」 内容(1)エ】
言語についての知識・理解・技能	エ 情景を表現している修飾語や接続語等の語句の役割を理解している。 【「言語事項」エ語句に関する事項(ア)】

### 5 単元計画 (全10時間)

次	時	主な学習活動	教師の指導・支援	評価とその方法
ー	1	「世界一美しいぼくの村」の魅力へと誘う「ガイドブック」作りの活動に見通しをもつ。 ・題名から思ったことを発表する。 ・教材文を読み、ガイドブックの完成をイメージする。	・ガイド・ブックの役割やそれを受け取る人の嬉しさ等を話すことで活動の意欲付けを図る。 ・教師作成のワークや既習教材による手引きを提示し、具体的な活動内容をつかませる。	ア ガイドブック作りに意欲をもっている。【観察 発言】
		物語の舞台となるアフガニ	・手引きを提示し、「見どころ」	イ 「見どころ」

二	2 3	<p>スタンのよさを見付け「見どころ紹介」を書く。</p>	<p>の書き方を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国，村，町の位置関係を確認させる。</li> <li>・自然描写の巧みさを「見どころ」につなげて書かせる。</li> </ul>	<p>とした根拠をあげている。【ワーク 発言】</p> <p>エ 自然を表す語句やその様子を表す修飾語，逆接の接続語の役割に気づいている。【ワーク 発言】</p>
三	4 5 6 本時	<p>登場人物の心情をもとに人物相互のつながりを考え「愛の心」がわかる「人物関係図」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町で出会った人とヤモ親子の心のつながりについて調べ話し合う。</li> <li>・ヤモの家族の心のつながりについて調べ話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手引きを提示し，「人物関係図」の書き方を理解をさせる。</li> <li>・場面や人物を焦点化しながら行動，会話，心情の表現に着目させる。</li> <li>・事柄と言葉を関連させながら，人物と人物の心のつながりを読み取らせていく。</li> <li>・各児童の一人調べの「読み」をもとに意図的指名を行ったり，発表できるように言葉かけをしたりしておく。</li> </ul>	<p>イ 登場人物とその人物間にある「愛の心」を「 」に表すことができる。【ワーク】</p> <p>イ 人物と人物の間にある相手を思う気持ちを表現をもとに読み取ることができる。【ワーク 発言】</p>
四	8 9	<p>最後の一文にかくれた意味を伝える「一文図解」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一文を読んで感じたことや気付いたことを書く。</li> <li>・自然，人間，つながり，命等の項目を整理しながら，戦争で破壊されたものについて話し合う。</li> <li>・最後の一文をもとに作品を読んだ感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手引きを提示し，「一文図解」の書き方を理解させる。</li> <li>・単語に区切り，1つ1つの言葉が表している意味や作者の表現の意図を全文を読み返しながら書かせる。</li> <li>・前に書いた「見どころ」「人物関係図」のページ，話し合いの中で出された友達の考えを参考にさせる。</li> </ul>	<p>イ 破壊されたものについて，人間と自然の視点から書くことができる。【ワーク】</p> <p>ウ 教材を読んだ感想を「戦争」に対する思いや考えを入れながら書いている。【ワーク】</p>
五	10	<p>読書を広げるための視点やおすすめの本を紹介しながら，「読書ビンゴ」を完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前もって「読書ビンゴ」のページが書けるように，視点を掲示したり関連図書のコーナーを設け本の紹介をしたりしておく。</li> </ul>	<p>ア 「読書ビンゴ」をもとにすすめた本と理由を発表している。【ワーク 発言】</p>

6 本時の学習（7 / 10 時間）

（1）目標

人物関係図の中に「愛の心」として書き表した「 」の理由を出し合いながら，ヤモの家族をつなぐ思いやりの気持ちを読み取ることができるようにする。

（2）展開

過程	学 習 活 動	指 導 と * 評 価
導 入	1 前時までの学習を想起し，本時のめあてをもつ。	ヤモの家族の「愛の心」を読み深めていく学習に意欲をもたせるために，読みを深めた発言や分かってきた心情の読み方等，よかったところを出来るだけ児童名をあげながら紹介する。
	ヤモの家族をつなぐ「 」には，どんな気持ちがあるのだろうか？	
展 開	<p>2 人物関係図の中のヤモの家族について「 」を引いた理由を話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【人物と着目させたい文章表現】</p> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・父さんと食べようと思って取っておいたんだ</p> <p>・ヤモ</p> <p>・父</p> <p>・ハルくん兄さんの顔がうがひました</p> <p>・何だかわねがいつばい</p> <p>・バハール(春)という名前を</p> <p>・そんなヤモを見て</p> <p>・兄</p> </div>	<p>さりげなく描かれている言葉の裏にも家族の愛や絆があることに気付かせるために，「思いやり」を感じた表現を全体で吟味させていく。</p> <p>*教材の表現を根拠にあげながら，ヤモや父の家族を思いやる気持ちを発言している。</p> <p>発言できるように事前に書いたワークに励ましの言葉をそえたり，意図的に指名を行ったりする。</p> <p>教科書の表現だけを発言している児童は，そこからわかる相手への思いも出すように促す。</p> <p>父とヤモの親子のつながりについては，「手伝いをしたから」「羊を買ったから」といった理由だけでなく，相手を思う気持ちが読み取れる言葉に着目させることで，お父さんが大好きなヤモ，兄を心配するヤモの気持ちを察した父に気付かせたい。</p> <p>兄とヤモの兄弟のつながりについては，根拠となった言葉の表す意味を具体化していくことで，心配しながらも帰りを待ち望んでいるヤモの切ない気持ちに迫らせたい。</p> <p>*だれのどんな心情がどこから分かるかを書いている。</p>
	3 本時の学習を振り返り，「人物関係」についてガイド・ブックを読む。	

/ 終 末	<p>む人に教えたいことを書く。</p>	<p>どう書いていいのか分からない児童は、「手引き」にあげた既習教材での例や「ヒント・カード」を見て書くように助言する。</p> <p>何を書いていいのか分からない児童は、自分が書いた「関係図」のなかの言葉や板書の中から、一番教えたい人物の心情が分かることばを選ばせる。</p>
	<p>4 次時の学習を見通す。</p>	<p>教材の絵や言葉をプロジェクターで投影し、これまでに描かれてきた美しい自然や温かい人間関係が次の学習の最後の一文ですべて消え去ることを暗示する。</p>